
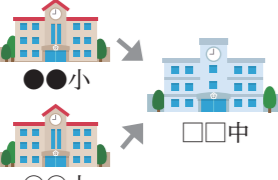



呉市の小中一貫教育の取り組み

呉市では、中学校進学時のギャップ解消や子どもの自尊感情の向上などを目的に、小・中のつながりを重視した教育を行うことで、子どもの成長を幅広く支え、「生きる力」を育成しています。その学校形態には一体型や分離型、義務教育学校などがあります。

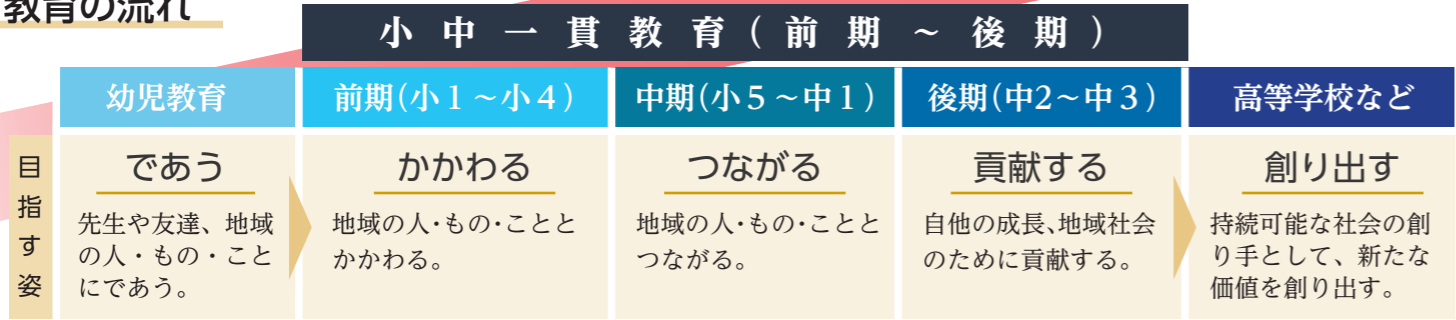
呉市の学校形態

一体型	分離型	義務教育学校
 小・中の施設が一体化している中学校区。(広南、警固屋、呉中央、倉橋)	 小・中の施設が離れている中学校区。	 9年間の学校教育目標を設定し、9年間の系統性を確保した教育課程を行っている学校。(天応学園)



▲小中一貫教育全国サミットで公開授業を行った呉中央学園(呉中央小学校・呉中央中学校)の授業風景

教育の流れ



「生きる力」の育成

特集Ⅰ 呉に学び 自分を磨き 未来を創る

小中一貫教育の風景

合同授業や朝のあいさつ運動などを通じて、小学校と中学校のつながりを深めることで、その段階差をなだらかにするとともに、各中学校区の実態に応じた特色ある取り組みを進めています。



小中一貫教育全国サミット in 呉

10/2(木)・3(金)に呉市で開催され、全国から教員など約1,300人が参加。初日は呉中央小・中と横路小・中、天応学園で公開授業を行い、2日目には市の取り組みの発表や専門家による討論会などを実施しました。

詳しくは



呉市が進める「小中一貫教育」

問 学校教育課 ☎ 0825-3454

呉市では、平成12年度に現在の呉中央学園(当時の五番町小・二河小・二河中)が、当時の文部省に小中連携の研究開発の指定を受けたことから、全国に先駆けて、小中一貫教育をスタートさせました。そして、平成19年度からは、市内すべての中学校区で小中一貫教育を実施してきました。

このたび、その成果と課題を整理して、新たな意義を見出す機会として、「第20回小中一貫教育全国サミット in 呉」を開催しました。このサミットを機に、つながりを重視した教育をより一層充実していくことで、引き続き、子どもたちに必要な資質・能力の育成を目指します。

# 教育座談会

「小中一貫教育」で学んだ世代が、教員として活躍する時代に。その若手教員たちに、小中一貫教育に思うことを率直に語ってもらいました。



宮原地区出身 23 歳  
仁方小学校 勤務  
香川 幸泉 先生

広地区出身 25 歳  
横路中学校 勤務  
増本 拓音 先生

中央地区出身 23 歳  
広小学校 勤務  
川西 里奈 先生

音戸地区出身 23 歳  
昭和北小学校 勤務  
池野 優人 先生

川西先生 中学校の先生が小学校へ、小学校の先生が中学校に来てくれる「乗り入れ授業」も呉市では積極的に行っていますよね。私が小学生の時も中学校の先生が来てくれたので、少しコワモテの先生だっただけですが、その授業がとても面白くて、中学生になるのが楽しみでした。

池野先生 私は中学生の時、里帰りで母校の小学校に行き、中学校の授業や部活動などを伝える機会がありました。後輩たちが興味津々に聞いてくれて、うれしかったのを覚えています。

香川先生 宮原中学校区では、宮原小・坪内小・宮原中の3校で集まり、地域のことを話し合う機会がありました。小・中の一体感を感じることができ、中学校に上がる不安が無くなった気がします。

川西先生 中学生に刺激をもらって、運動会を中学生と一緒にやっていました。小学生を引っ張ってあげる姿を見て、自然と目標にしています。

## 小中一貫教育の思い出

増本先生 私は三坂地小学校だったんですが、地域の清掃活動で中学生と一緒にしました。仕切ってくれた中学生がカッコよかったのを覚えています。

香川先生 その通りですね。私は先日、中学3年生の授業を見学したんですが、小中一貫教育で学びを深めて、自信に満ち溢れた姿に

増本先生 防災でいうと、私の横路中学校区では、小・中や地域の人たちと合同で避難訓練を行っています。さまざまな立場の人と関わり、自分の役割を見つけることで、子どもたちの自尊感情の向上にもつながります。これも小中一貫教育の良さですね。

池野先生 私も同じですね。例えば、防災の取り組みでは、子どもたちも自ら判断し、行動することが求められます。自分で考える力を身に付けてほしいと、日々教えています。

川西先生 子どもたちの主体性を大切にしています。例えば、授業計画を教室に掲示したり、子どもたちに見通しをもって学習できるように努めています。

## 教える側になり

### 意識していること

増本先生 私は中学校の教員ですが、よく小学校の授業を見学に行き、学びの基礎を確認するよう心がけています。小学校の学びで積み上げたものを大切に、中学校で発展させることができればいいなと思っています。皆さんは？

池野先生 小中一貫教育は9年間あるので、子どもたちの成長がより感じられる気がします。私たちも切磋琢磨して、教員として成長していきたいですね。

香川先生 そうですね。私たちもそうしてもらったように、みんなで力を合わせて、呉の子どもたちを支えていきたいと思います。

小中一貫教育で、これからも子どもたちの学びを支えていきます！



# 毎日の学校生活が楽しい！

総合的な学習の時間に中学生が来てくれて、発表のアドバイスをもらえました！

呉中央学園 6 年生  
江崎 大輝 さん



同じ仲間、同じ環境で学べるので、中学生になっても楽しく学んでいます！

呉中央学園 7 年生  
小山 美桜 さん



自分たちも小学生の時に先輩に可愛がってもらいました！

呉中央学園 7 年生  
石丸 楓 さん



中学校の先輩と登下校するのも、楽しみの一つです！

呉中央学園 6 年生  
坂本 圭護 さん

小中一貫教育のいいところを、呉中央学園の子どもたちに聞きました。

## 「いいよーん」

# 教えて！「小中一貫教育」の



## 保護者が感じていることは



呉中央中学校 PTA 会長  
宮崎 泰子 さん

### 学びの継続性を実感

小中一貫教育で一番実感しているのは、学びの継続性です。小学校から中学校に上がる際も、つながりのあるカリキュラムのもとでスムーズに学べていると思います。

また、呉中央学園では、小学校と中学校の職員室が同じ空間にあります。中学校に進学しても、小学校で頼りにしていた先生が近くで見守ってくれるので、親としても安心です。

そのほかにも、呉中央学園をはじめ、呉市内の学校では、小・中一歳の行事が数多くあります。おかげで、小学生は中学生のお兄さんお姉さんの姿を見て学ぶことができますし、中学生は小学生を引っ張ることで、リーダーシップを身に付ける機会になっています。保護者の立場としても、先生たちと連携しながら、子どもたちの自主性を育んでいきたいですね。